

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12236

博物館施設維持管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
中事業	博物館施設維持管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 博物館 前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	博物館の運営・維持管理を円滑に行うための事業		博物館法に基づき、博物館の運営・維持管理を行う事業。		
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
	博物館の適正な運営・適切な維持管理を行う。「博物館基本計画」の策定に向けて取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。また、「博物館基本計画」の策定に着手する。	博物館の運営・維持管理を行う。また、「博物館基本計画」を策定した。	博物館の運営・維持管理を行う。また、「博物館基本計画」に基づき、魅力的な博物館にするよう取組を進める。	博物館の運営・維持管理を行う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	88,794	73,728	32,293	31,357	33,704	42,789	32,600	0	32,600	0
伸び率(%)	74.8%	49.4%	△63.6%	△57.5%	4.4%	36.5%	△3.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,119	4,956	6,927	6,927	6,848	7,166	6,689	0	6,689
	正規職員以外	1,886	3,699	2,874	2,874	1,981	3,888	4,902	0	4,902
	小計	3,005	8,655	9,801	9,801	8,829	11,054	11,591	0	11,591
国庫支出金	0	0	1,100	907	0	6,013	172	0	172	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	39,700	34,400	0	0	0	4,200	0	0	0	0
その他	1,460	752	1,660	584	1,642	561	1,121	0	1,121	0
一般財源(税等)	47,634	38,576	29,533	29,866	32,062	32,015	31,307	0	31,307	0
所要人数(人)	正規職員	0.14	0.62	0.86	0.86	0.86	0.90	0.84	0.00	0.84
	正規職員以外	0.76	0.96	0.96	0.96	0.61	1.45	2.00	0.00	2.00
主な予算内訳	管理委託料18,833千円 光熱水費8,859千円 所々修繕料194千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
施設	施設の修繕箇所数	件	目標値	0	0	0	4	
			実績値	2	2	6		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	
入館者数	人	目標値	14000	16000	18000	18000	18000	
		実績値	15479	17397	10382			
		達成度(%)	111%	109%	55.5%	%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	昭和60年11月の開館以来、本格的な施設の改修やリニューアルは行っていなかったが、平成30年度には、空調機器の入れ替え改修工事を行い、デマンド監視システムを導入し、令和2年度には玄関ホール・常設展示室の天井照明のLED化により節電にも取り組んでいる。
見直し・改善内容	平成30年度と令和2年度に施設の一部の改修を行うことができたが、他の設備が老朽化による劣化が進んでいる。今後、令和2年度に策定した「博物館基本計画」に基づき、魅力的な博物館となるように取り組んでいく必要がある。